

中野区教育委員会会議録

平成30年第4回定例会

平成30年2月2日

中野区教育委員会

平成30年第4回中野区教育委員会定例会

○日時

平成30年2月2日(金曜日)

開会 午前10時00分

閉会 午前10時44分

○場所

中野区役所5階 教育委員会室

○出席委員

教育委員会教育長 田辺 裕子

教育委員会委員 小林 福太郎

教育委員会委員 伊藤 亜矢子

教育委員会委員 渡邊 仁

教育委員会委員 田中 英一

○出席職員

教育委員会事務局次長 横山 俊

教育委員会事務局副参事(子ども教育経営担当) 高橋 昭彦

教育委員会事務局副参事(学校再編担当) 板垣 淑子

教育委員会事務局副参事(学校教育担当) 石崎 公一

教育委員会事務局指導室長 杉山 勇

教育委員会事務局副参事(子ども教育施設担当) 石原 千鶴

○書記

教育委員会事務局教育委員会担当係長 金子 宏忠

教育委員会事務局教育委員会担当 立花 加奈子

○会議録署名委員

教育委員会教育長 田辺 裕子

教育委員会委員 渡邊 仁

○傍聴者数

8人

○議事日程

[報告事項]

(1) 教育長及び委員活動報告

- ① 1月30日 平成28年度・平成29年度中野区教育委員会「学校教育向上事業」研究指定校研究発表会（第八中学校）

(2) 事務局報告

- ① みなみの小学校校舎等整備基本設計について（子ども教育施設担当）
- ② 美鳩小学校校舎等整備基本設計について（子ども教育施設担当）
- ③ 桃園小学校・向台小学校統合新校校舎等整備基本設計について（子ども教育施設担当）
- ④ 上高田小学校・新井小学校統合新校校舎等整備基本構想・基本計画（案）について（子ども教育施設担当）

○議事経過

午前10時00分開会

田辺教育長

おはようございます。

定足数に達しましたので、教育委員会第4回定例会を開会いたします。

本日の会議録署名委員は、渡邊委員にお願いいたします。

本日の議事は、お手元に配付の議事日程のとおりです。

それでは、日程に入ります。

<教育長及び委員活動報告>

田辺教育長

報告事項、教育長及び委員活動報告につきましては、事務局から一括して報告をお願いします。

副参事(子ども教育経営担当)

1月30日火曜日でございます。平成28年度・平成29年度中野区教育委員会「学校教育向上事業」研究指定校研究発表会が第八中学校でございまして、田辺教育長がご出席されました。

以上でございます。

田辺教育長

ただいまの報告につきまして、各委員から補足、その他活動報告がございましたら、お願いいたします。

田中委員

活動報告というよりは情報提供なのですけれども、昨年度の学校保健の統計が発表になりました。医科の部分からいろいろあるのですけれども、私は歯科なので歯科が一つの目標になっているのが12才児のDMFという、ちょうど中学1年生の虫歯がどれぐらいあるかというデータが指標になっているのですけれども、1人平均0.8という値が出ました。これは過去最高に口の中がきれいだというのですけれども、DMFというのは要するに、今、口の中に虫歯と治してある虫歯と、それから虫歯で抜いてしまった歯の平均が中学生だと1本ない、それぐらい子どもたちの口の中がよくなっているということです。

ただ、一方で治していない虫歯のある子が4割弱ぐらいいるのですね。ですから、まだまだ安心できない状況。それと、健康な口でどうやって食べるとか、コミュニケーション

をとるといったところへどうつなげていくかというのも、歯科保健の今後の課題かなと。速報が出たのでご紹介しました。

あともう一ついいですか。私が歯科校医をやっている学校で年に何回か新聞が出て、くれるのですけれども、保護者アンケートの結果が送られてきたのです。保護者の方からすごくいい評価を得られていて、学校が保護者や地域の方の意見や要望を受けとめているとか、地域の方と協力しながら子どもを協力しているとか、そういったところが95%以上、地域の方から評価をされていて、しかもそれが昨年度より15ポイントとか上がっている。だから、学校が一生懸命そういう活動をされているのかなと思いました。

それともう一つ、これは小中連携なのですからけれども、オープンキャンパスや乗り入れ指導を通じて、体力向上や学力向上の充実を図っているかというのも、これは98%ぐらいの父兄の方がそう思っていらっしゃったり、あるいは乗り入れ指導とかを通じて生徒一人一人に応じた指導を行っているかというのも、やっぱり96%と昨年度より非常に大きく上がっていて、多分、教育委員会で大きな小中連携とかそういったことが、各学校でそれぞれ一生懸命取り組んでこられた結果がこういうところに出ているのかなと思って。今後も、また、教育委員会として応援していかなくてはいけないことかなと感じましたので、ご報告させていただきます。

田辺教育長

うれしいお話をありがとうございました。ほかにございますか。

渡邊委員

直接的に教育委員会には関係ないのですが、昨日、鷺宮すこやか福祉センターのほうに1歳6カ月健診の見学に行ってきました。1歳6カ月健診で一般的な身長・体重、それと内科検診、その中に集団指導として栄養指導とか、それと行政の内容の個別指導、そして個別では発達の悩みとか、そういったことを個別にお話しする場がありました。少し心配なのは、今度から1歳6カ月健診が個別健診になることによって、そういった場が少なくなる可能性がある。そうやって見ると、昨日42人ぐらいいたのですけれども、個別相談になるケースが4人か5人ぐらいなので1割以上いるということを考えますと、やはり子どもだけの問題ではなくて、どちらかというとお母さんの子育ての問題もあるということで、そういったところが学童になる以前にいろいろと手当てするというか、私たちが援助する機会を少しずつ増やしていかなければいけないし、そのあたりは学校教育にもかかわるところで、少し考えなければいけないなと感じて見てまいりました。

ですから、1歳半を超えると次は3歳児健診になってしまうので、そのあたりの入学前とか、また幼稚園とか保育園に行った状態でもお母さんの悩みとか、そういった機会を増やせる形を、またその情報を教育委員会とか就学のときに流れるようなシステムというのも重要ではないかなと感じておりました。

もう1点、昨日の夜は、在宅小児の子の勉強会がありました。保健師さん、そして訪問看護師さんやいろいろな方が集まってやっていました。お話し合いというかグループワークをして勉強したわけですが、その中でも一つ問題は、生まれた直後に自宅に帰されるという問題もあったのですけれども、子どもたちが入学するときの問題とか、ある程度体が弱い状態で就学をする問題、特別支援学級だったり養護だったり、そのあたりの問題というものもなかなか相談するケースがうまくできていないという家族のお話で、私たちはできているつもりでいるのですけれども、意外に家族にとっては十分ではないなんていうお話を伺ったので、そういった意味でそういったところも何か教育委員会がかかわれるところがあるか、実際にはわからないのですけれども、もう一度見てみていく必要があるのかなと感じました。

以上です。

田辺教育長

ほかにございますか。よろしいですか。

<事務局報告>

田辺教育長

それでは、続きまして、事務局報告に移ります。

事務局報告の1番目「みなみの小学校校舎等整備基本計画について」、事務局報告の2番目「美鳩小学校校舎等整備基本設計について」、事務局報告の3番目「桃園小学校・向台小学校統合新校校舎等整備基本設計について」は一括しての報告をお願いします。

副参事(子ども教育施設担当)

それでは、3校を一括してご報告させていただきます。

本件、小学校3校の統合新校舎及び併設いたします地域開放型学校図書館、キッズ・プラザにつきましては、整備基本設計(案)につきまして、以前、教育委員会にてご報告していたところがございます。このたび、校舎等整備基本設計を策定いたしましたので、ご報告させていただきます。

まず、基本設計でございますが、資料平面図・配置図をご覧くださいませでしょうか。

各校の整備基本設計・配置計画につきましては、資料のとおりでございます。各校共通になりますが、(案)のご説明のときから施設の配置計画、また、設計の内容等についての変更はございません。各諸室の配置につきましては、教育委員会での意見等踏まえまして、教育相談を充実するための教育相談室を保健室に近接させる、また昇降口につきましてはコンセプトを持った施設としてほしいとのご意見から、名称を「エントランス」といたしまして、明るく親しみやすい環境を整備してまいります。

次に、説明会で寄せられました主な質問・意見等について、ご報告させていただきます。基本設計(案)にかかる説明会につきましては、開催日時、会場等、資料のとおり実施を行ってまいりました。各小学校の開催日、会場参加人数等については、資料に記載のとおりでございます。

各校の主な質問・意見について、ご報告させていただきます。まず初めに、みなみの小学校でございますが、こちらにつきましては各校共通した意見として挙げられているところではございますが、新たな施設環境として整備する一足制導入に伴う質問・意見がございました。資料1から3が一足制に伴う質問等でございますが、例えば①、雨天時の校舎内への雨水の持ち込みや、床材につきましては、今後進める実施設計におきまして、素材等について検討をしております。

その他の意見といたしまして、④番目、普通教室の前面に設置するバルコニーの安全面につきまして、ご質問がありました。こちらについては、落下防止に手すりの設置や、また形状等、安全面に配慮した整備を行ってまいります。

また⑥番目でございますが、屋上プールの目隠し等については、以前からお話しいただいているところでございますが、屋根を設けることはできませんが周囲からの視線や直射日光を避ける工夫を、今後実施設計のほうでさらに詳細に検討し、行っていきます。その他の質問や意見については、記載のとおりでございます。

続きまして、美鳩小学校についてご報告させていただきます。こちらにつきましても、一足制やバルコニーの安全対策等につきまして、みなみの小学校と同様の意見がございました。その他の意見といたしましては、④番・⑤番になりますが、新校舎のバリアフリー対策の徹底や、1階以外にも多目的トイレを設置してほしいとのご意見がございました。新校舎につきましては、バリアフリー対策を行うとともに、多目的トイレにつきましても1階のほか3階にも設置してまいります。その他、質問・意見につきましては、資料のとおりでございます。

最後になりますが、桃園小学校・向台小学校につきまして、説明会での意見の内容についてご報告させていただきます。これまで他校で出ました意見のほかに、⑤番目でございますが、音楽室の防音対策や、また、⑩番目、防災の観点からのマンホールトイレや災害用井戸の整備を行ってほしいなどの意見等がございました。防音対策については十分配慮するとともに、また、建物につきましては防災性の高い施設整備を行ってまいります。なお、各校におきまして、設計の変更にかかわるような意見等についてはございませんでした。

今後のスケジュールでございますが、各資料に記載のとおりでございます。

ご報告については以上でございます。よろしくお願いいたします。

田辺教育長

それでは、各委員からご質問等、ご発言がありましたらお願いいたします。

田中委員

美鳩小学校の意見の中で、⑥番目ですか、性同一性障害の児童に対する配慮をとということが出ていまして、私もこういうことも考えていかなくてはいけないのかなと受けとめました。対応はこういったことでいいのではないかと思うのですけれども、今、現時点で区内のほかの学校で、そういったことで何か対応が求められているようなことはあるのでしょうか。もし、わかればいいのですけれども。

指導室長

性同一性障害という診断が下る、下らないにかかわらず、子どもたちの悩みについては受けとめ、個別の対応をさせていただくという対応をとらせていただいています。それに際しては、多様性を認めるという部分の教育を周知、指導・徹底しながら、現在、対応しているところでございます。

田辺教育長

よろしいですか。ほかにございますか。

小林委員

今の件は、今後いろいろと検討し、適正な運営というか指導が求められるところだなと思いました。施設に関しては、ある程度一定のものをつくらざるを得ない部分があると思うのですが、できるだけ配慮しやすい形状にしていくことも工夫としてあると思いますが、やはり何ととっても大事なことは、運用というか指導のあり方だと思います。ですから、教員の意識とか指導のあり方とか、やはり人権教育を適正に推進していくという視点から、

この辺はしっかりと学校も受けとめて、それから教育委員会としてもそうした指導や研修なども充実させていく必要があるかなと思いました。

以上です。

伊藤委員

大事な観点だと思うのですけれども、いろいろな学校ですとか海外とかも、気を付けてそういったことを見てきたりしているのですけれども、「だれでもトイレ」という感じで、そういう性同一性障害にかかわらず、バリアフリーとかノーマライゼーションとかインクルージョンということでなされているのではないかなと思います。たしか、バリアフリートイレはあったと思いますので、そういった充実とか使いやすいところにそれを設置するとかいうことを、もう一度ご確認いただくことが大事かなと思いました。

田辺教育長

ほかにございますか。

渡邊委員

何度かこの基本設計を見せていただいて、この図面みたいなものは、今ここに私の手元にはあるのですけれども、例えば説明会に参加された方には手渡されているものなのでしょうか。あとはホームページその他等でダウンロードできるものなのでしょうか。

副参事(子ども教育施設担当)

説明会に参加された方につきましては、図面等は配付してございます。また、区のホームページでこちらの基本設計につきましては、図面等、見ることができますので、そちらで公表してございます。

渡邊委員

建築に関する内容のものも幾つか出ていました。でも、これについてはほとんど専門家がある程度公的にやっているもので、その辺りはしっかり信頼できるものと考えてよろしいかと思うのですけれども、例えば大きな大もとの箱ができて、その中を教室で仕切るに関しては、まだ余裕があるのであれば学校関係者とかその他等の意見を聞いて、適切な配置を考えていただきたいと思います。果たしてこの配置が、単に同じ大きさの箱を並べて、1階から1年生、2年生、3年生、1、2、3と並べるのもよろしいかとは思いますが、多目的室だとか図書館だとか職員室だとか、また特別支援学級の位置とか、そういったものも十分いろいろな意見を聞いて配慮して、最後まで決めないでよりよいものをぜひつくっていただきたいと思いますので、その辺りをよろしくお願いいたします。こ

これは意見です。

伊藤委員

つい私などは、子どもが校舎にいてどうかなという視点で見てしまうのですけれども、今回、地域の方に見ていただいたことで、私も前回ぐらいから気にしているのですが、太陽電池のことですとか防災拠点としての観点というのも随分挙げられているなと思って、そういったことも防災トイレとか太陽電池とか、人工芝によって防災拠点にしやすいなというお話は伺っているのですけれども、そういったことも引き続きお願いできればと思いました。

田辺教育長

ほかにございますか。

小林委員

少しお聞きしたいのですが、今、防災拠点というお話ありましたが、これは屋内運動場となっていますけれども、ここには空調設備というのは計画されているのでしょうか。

副参事(子ども教育施設担当)

新校につきましては、空調設備を整備してまいります。

田辺教育長

ほかにございますか。よろしいですか。

それでは、本報告について終了させていただきます。

続きまして、事務局報告の4番目「上高田小学校・新井小学校統合新校校舎等整備基本構想・基本計画(案)について」の報告をお願いします。

副参事(子ども教育施設担当)

それでは「上高田小学校・新井小学校統合新校校舎等整備基本構想・基本計画(案)について」、ご報告させていただきます。

こちらにつきましては、区立小中学校再編計画(第2次)に基づき整備いたします、上高田小学校と新井小学校の統合新校校舎になります。こちらにつきましては、平成34年度に、現在の新井小学校の位置にて新校舎の開設を予定してございます。このたび、新校舎及び併設いたします地域開放型学校図書館、キッズ・プラザの配置案等につきまして、校舎等整備基本構想・基本計画(案)として取りまとめいたしましたので、ご報告させていただきます。

まず一つ目、基本配置案につきましては、資料に付けてございます配置図、また平面図

等をご覧くださいませでしょうか。こちらにつきましての新校舎等の整備に当たっての基本的な考え方につきまして、ご説明させていただきます。新校舎等の基本的な考え方につきましては、これまでの学校と同様に、区立小中学校施設整備計画の基本方針に基づき、整備を進めてまいります。

具体的な事項といたしましては、(2)①から記載のとおりでございます。新たな教育環境として一足制での運用による施設、校舎整備、また地域の拠点として区民や子どもたちが利用しやすい施設づくり、将来的には地下化となる西武新宿線跡地とのつながりも考慮に入れた施設整備、また防災性の高い施設としての整備、多様な学習形態や教育活動に対応できる施設整備を行ってまいります。

戻りまして、基本配置につきましてのご説明をさせていただきたいと思っております。こちらに示しております資料のほかに、一次検討として配置計画を2案作成し、比較・検討を行ってまいります。

まず一つ目の案でございますが、今回の計画でお示ししているものでございますが、校舎を北側・西側、また校庭を南東側に配置した計画でございます。本案につきましては、校庭面積を現在の新井小学校と同等以上に確保できるほか、また普通教室や校庭への日照・採光が確保できます。

また、二つ目の案でございますが、校舎を南側・東側、校庭を北側に配置した計画をいたしました。本案につきましては、用途地域上、校舎の高層化が可能な配置となりますが、校庭が校舎の北側に配置されるため、校舎の日照を校舎自らが制限してしまうこと、また、南側に配置いたします普通教室が校庭に面することができず、教育環境としての課題などがございました。こうしたことから、校舎を北側・西側に寄せました現在の新井小学校に近い配置案を、施設配置の基本として更に検討を進めてまいりました。

その一次で検討した結果を基本といたしまして、さらに検討した計画案を資料のとおり基本配置案としてお示ししているところでございます。施設の概要につきましては、資料を見ながらご説明させていただきたいと思っております。建物の階数につきましては、地上5階建て、延べ床面積につきましては約9,990平米でございます。配置計画でございますが、資料、上向きが北になります。校舎につきましては、敷地の北側また西側を中心に配置いたしまして、南向き・東向き諸室に十分な採光や通風を確保できるよう配置いたしました。校庭面積につきましては、先に申し上げたとおり、現在の新井小学校の同等以上の規模といたしまして、校庭を南東に配置することで日照を十分に確保した、水はけのよい校庭と

してまいります。また、セキュリティ確保のため、地域開放を行います地域開放型学校図書館、キッズ・プラザ、屋内運動場につきましては北棟に配置いたしまして、動線を敷地北側に配置するとともに地域開放型学校図書館とキッズ・プラザが相互利用しやすい配置としてございます。

また、学校の正門につきましては、1階配置図をご覧いただきたいのですが、通学区における児童推計値等を踏まえまして敷地南東角に設置いたしまして、安全上の配慮から門の前面にスペースを設けております。また、東側、中野通り側の歩道につきましては、歩道の幅員等が狭いため、一部を学校側にセットバックした計画としてございます。

次に、平面計画についてご説明いたします。資料そのまま、1階平面図でございますが、職員室、校長室などの管理諸室につきましては、校庭の見渡しや、また防犯上の観点から校庭に面した1階に配置し、次ページ目、2から4階平面図になりますが、普通教室や特別教室などの学習諸室につきましては、2階から4階に配置してございます。1階に戻りますが、こちらは北側になりますけれども、1階に配置いたします地域開放型学校図書館とコンピュータ室、またランチルームと多目的室については一体的に活用できるよう、整備してまいります。

こちらの小学校につきましても、学校における教育相談を充実させるため、教育相談室につきましては1階の保健室に近接した位置に配置してございます。

5階平面図になりますけれども、プールにつきましては消防水利としての活用や、また災害時の避難所の生活用水の確保のため屋上に配置し、周囲からの視線等に配慮した計画としてまいります。

1階にお戻りいただきまして、地域開放型学校図書館とキッズ・プラザにつきましては、北棟1階に配置してございます。またその上、2階になりますが、避難所としての機能を有する屋内運動場につきましては、妙正寺川に近いところも配慮いたしまして2階に配置してございます。また1階平面図になりますが、特別支援学級につきましては学習環境に配慮いたしまして、1階、校庭に面した場所に配置してございます。その他、施設といたしまして、教育空間の拡張や環境負荷軽減に有効なバルコニーの設置、また、こちらの小学校につきましても太陽光発電装置の設置など、防災また省エネルギーや環境に配慮した計画としてまいります。

資料1枚目にお戻りいただけますでしょうか。今後の予定でございますが、区民との意見交換会を2月15日・17日に実施いたします。会場、時間等につきましては、記載のと

おりでございます。また、整備スケジュール予定でございますが、この後、平成30年3月に基本構想・基本計画の策定を行いまして、30年7月から平成31年12月にかけて、基本設計・実施設計を行ってまいります。工事につきましては、平成31年度末から33年度にかけて、新井小学校校舎の解体、またその後、新校舎建設工事を行ってまいります。新校舎の供用開始につきましては、平成34年度を予定してございます。

なお、現在の上高田小学校と新井小学校の統合新校につきましては、現在の上高田小学校の位置にて、平成32年4月から開校いたします。

ご報告は以上です。よろしく願いいたします。

田辺教育長

各委員から、質問等のご発言がありましたら、お願いいたします。

田中委員

直接の校舎の配置とかではないのですが、私も校庭が中野通り側にあるほうが当たりがいいので、いいのかなと感じました。ただ、統合新校の学区の中で校舎の位置が北西の端になっているので、多くの子どもたちが多分中野通りを渡って来ることになると思うのですが、歩道橋が一つあって対応できるか。あるいは、ほかの学校でも中野通りぐらい大きいところを父兄の方が旗を持ったりして、安全を確保しながら大きな通りを渡るというのも結構あるものなのですか。

田辺教育長

今年の春に統合したみなみの小学校ですが、今までの新山小学校のところに開校しているのですが、やはり通学区域が広がって、東のほうから中野通りを渡って来ると。そこも一応、歩道橋はありますけれども、再編に当たっては交通安全指導員をほかの学校より多く配置してトラブルがないようにとか、また地域や保護者の方々も毎朝出でいただいています。例えば武蔵台小学校なんかも新青梅街道を渡ってくるとか、学校によってはやはり幹線道路を渡って通学してくる学校は結構ありますので、それなりの配慮はさせていただいています。

田中委員

その辺の配慮も、ぜひしていただけると。多分生徒数からいったらこの歩道橋だけでは全然追いつかないぐらいなので。お願いします。

次長

今、ご覧いただいている図面の右下のほうに横断歩道もございますので、その二つを

横断ということになるかと思います。

田辺教育長

ほかにございますか。

伊藤委員

横断歩道は、すごく大きな生徒数の学校もそれで済ませているところもあって、意外に思っているよりも人が通れるとは思うのですけれども、その反面、よく言われるように設置が随分古くなっていると思うので、ここの管轄ではないと思うのですけれども、ぜひ中野通りのものだけではなくて各学校の通学路にあります歩道橋については、安全性といったことをご確認いただけるとよりよいのではないかなと思いますのと、あとは雪のときとか、歩道橋は大変というときも実際あるので、そういったときの手当てというか配慮などもすればよいのではないかなと思います。

田辺教育長

環七を渡る学校もありまして、そこも歩道橋が幾つかあるのですけれども、伊藤委員がおっしゃるように地域の方からのご要望で、新青梅なんかを渡るときに風がひどいときは子どもたちが危ないというので、あそこは東京都の管轄になるのですけれども、お願いして風よけみたいなものをつけてもらったりとか、いろいろ工夫もさせていただいていますので、引き続き点検などしていきたいと思っています。

ほかにございますか。

小林委員

この上高田と新井に関しては、供用は平成34年度ということで、ほかのものに比べて一番後なので少し気がついたことを幾つかお話をしたいと思います。今までもいろいろな場面で似たようなことはいっぱい話してきたのですけれども、最初の基本的な考え方の②番に、学校図書館とコンピュータ室、ランチルームと多目的室を一体的に活用できるように整備すると。非常にいいことだと思うのですね。学校の施設というか設備というか、教室というか、初めにこれありきで、実は稼働率が極めて低くて、デッドゾーンという言い過ぎかもしれませんが、あまり意味のないスペースが結構存在したりすると思います。そういう点では一体的に使うということで、この図面を見るとまだコンピュータ室と図書室が仕切られているようではございますけれども、実際には一体的な形で、名称もそろそろ考えたほうがいいかなと。例えば、情報を得るという意味で「メディアセンター」とか、そういった形で使う側の発想も変えていくような、また指導に新たな視点がちゃんと加わるようにと

いうことは非常に必要ではないかなと思うのです。

それから、一足制についていろいろ議論があるようではすけれども、一足制はただ単にスペースを生むだけでなく、たくさんのいろいろな効果があると思うのですが、そういう点ではこの配置図を見て、例えば、残念ながらエントランスは北側のコンピュータ室と保健室のところにはあるのですけれども、いかにもこういう形状で自然にできているという。むしろ、私はランチルームと多目的室と会議室を一体的に使えば、手前の会議室はいらなくなる。そうすると、半分でもそこにエントランスが広がって、子どもたちが入ってくる時にゆとりを持ったいいスペースがある。情操的にも大きなプラスになると思うのです。そうすれば、後の半分は、例えば教育相談室を保健室の隣に持ってくることも可能ですし、まだまだ工夫の余地はあると私は思います。既存の枠ではめていくのではなくて、新しい発想で効率よく、そして場合によってはスペースを少し多くとる部分もあったりとか、これはこの中では一番後ですので、まだ工夫ができると思いますので、ぜひその辺、もう一度ご検討いただきたいと。非常に細かいことではすけれども、屋内運動場は上がステージになっていますから、だったらステージは舞台にするのか。だったら屋内運動場はアリーナにするかと。そういう名称からの意識改革というか、そういうものも大事だと思いますので、ぜひ、少し細かいことで恐縮なのですが、そういった点に心を配って進めていただければありがたいなという要望です。

以上です。

田辺教育長

ほかにございますか。

伊藤委員

いろいろ工夫していただいているものになってきていると思いますし、今、小林委員が言われたように、まだ工夫の余地もあると思いますので、特別支援教室と特別支援学級の動線とか、同じ学校なので特別支援学級の生徒さんたちも落ちついた学習環境と同時に、ほかの生徒さんともうまく混じり合うような動線がいいかなと思いますし、あと、そちらと特別支援教室との連携もございますし、また、地域連携室とかPTA室も端のほうにあるのですけれども、PTAの方々とか地域の方も緩やかに学校をもっと見たり、子どもたちとも触れ合えるような配置ということもあるかもしれませんので、先ほど小林委員が言われたように一緒にできるものは一緒にすることでスペースを有効活用ということは、また引き続きお願いできればと思います。

あともう1点、ふと気づいたのですが、多分西側に校舎の教室が向くのかなと思いますので、バルコニーによって西日対策もされているのだと思うのですが、今、冬なので寒いかなということを書いてしまうのですが、夏になるとやはり暑さも厳しいし、バルコニーの手すりが熱くならないかとか、いろいろなことが気になってしまうので、ぜひそういった四季折々の配慮をもう一度確認していただくとありがたいなと思いました。

以上です。

田辺教育長

ほかにございますか。

田中委員

①のところに、西武新宿線の跡地を考慮に入れたという形なのですが、これは開校のときにはもう地下化になっているのだと思うので、現時点で何かそういう方向性というか、少しアイデアみたいなものがあれば、教えてください。

副参事(子ども教育施設担当)

現段階では、まだ西武新宿線の跡地の活用については、所管のほうでも示されているところではございません。ただ今後、施設の設計をしていく上では、そちらといろいろな情報共有を図りながらやっていくというふうに考えてございますので、今後、やりながらそちらと連携をとって、どういったところでやるかというところを検討していきたいと考えてございます。

田中委員

北側ですけれども、結構広々した場所だと思うので、うまく一体化できればいいなと思います。よろしくお願いします。

田辺教育長

ほかにございますか。

渡邊委員

新校舎の目玉でもある学童クラブと地域開放型学校図書館の設置ということで、北側の紫の部分が地域開放型学校図書館と位置されているわけですが、この点線の部分で、学校図書館と地域図書館を分けるという、この図面ではそうなのですか。それとも、一緒にそのスペースを使おうという感じなのでしょうか。

副参事(子ども教育施設担当)

地域開放型学校図書館につきましては、学校図書館、地域に開放するところの図書館を

含めまして、一体的な図書館という考えでございます。ただ、こちらで児童優先エリアと書かれている部分につきましては、学校の子どもたちが優先的に使用するエリアとして定めているところではございます。

渡邊委員

ありがとうございます。地域開放型学校図書館という考え方はとてもよくて、地域の中に蔵書があって、そういったものも資源を有効に活用するというのは、学校だけのものも地域の人たちのためにも使えるということは非常に有効なことだと思います。セキュリティの問題とかいろいろと言われるわけですが、その部分も含めてもやはり資源を有効に使って、地域の人たちもこれからの図書館というのはただの本だけではなくて、違った意味での地域の活動の場になり得る可能性があるもので、そういった意味ではいろいろと十二分に工夫をして、配置なりセキュリティを考えていただきたいと思います。全ての学校に言えるわけですが、このあたりも。そういう意味では点線にさせていただいたのは、私は若干よかったのかなと。区切りをつけなかったという意味で、今後検討するという意味ではよかったのかなと思っております。

田辺教育長

ほかにございますか。よろしいですか。

それでは、本報告について終了させていただきます。

そのほか、事務局から報告事項はございますか。

副参事(子ども教育経営担当)

ございません。

田辺教育長

最後に、事務局から次回開催について報告願います。

副参事(子ども教育経営担当)

次回開催でございますが、2月9日金曜日、10時から当教育委員会室にて開催を予定してございます。

以上でございます。

田辺教育長

以上で、本日の日程は全て終了しました。これをもちまして、教育委員会第4回定例会を閉じます。どうもありがとうございました。

午前10時44分閉会